キャラクター名
ゲルト

プレイヤー名

メインクラス	メイジ	**Lv.1:**		**レベル**	2
サポートクラス	ドルイド	**Lv.1:**	ドルイド	**性別**	おっさん
称号クラス				**年齢**	34
種族	ヴァーナ			**境遇**	天啓
出自（効果）	狩人			**目標**	奪還

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	8	7	16	10	13	6	8
ボーナス	2	2	5	3	4	2	2
クラス修正	0	1	0	2	2	1	0
他修正							
能力値	2	3	5	5	6	3	2

HP	33
MP	38
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	S1ナイフ	至近	0	3	0	0	0	0	0
左手									
頭部	ハット					1			
胴部	ローブ					2			
補助	マント					1			
装身具	グリモア								
能力値			3	0	5	0	3	11	7
スキル									
その他	魔力のクリスタル								
総計(右)			3	3	5	4	3	11	7 m
総計(左)			3	0					
総計(両)									
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	6			6	+ 2 d
トラップ解除	3			3	+ 2 d
危険感知	6		1	7	+ 2 d
エネミー識別	5			5	+ 2 d
アイテム鑑定	5			5	+ 2 d
魔術判定	5			5	+ 3 d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
バックパック	
ベルトポーチ	【アームズクリスタル】
	S1ナイフ
冒険者セット	└魔力のクリスタル
キャップライト	
ランチボックス	
└野菜*5	
HPポーション*2	
MPポーション*3	

現在重量： 12		
最大重量： 15	所持金： 37	預金・借金：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
アクロバット	★	-	パッシブ	-	自身	-		
効果： 猫族、作成時に敏捷基本値に+3								
ファイアボルト	★	6	メジャー	20m	単体	魔術	-	
効果： 対象に魔法攻撃を行なう。その攻撃のダメージは[2D+10](《火》属性の魔法ダメージ)となる。クリティカル：ダイスロール増加								
コンセントレイション	★	-	パッシブ	-	自身	-	-	
効果： 魔術判定に+1Dする。								
ファイアロード	2	-	パッシブ	-	自身	-	-	
効果： 〈火〉属性の魔法ダメージに+[SL×4]する。								
マジシャンズマイト	1	-	パッシブ	-	自身	-	-	
効果： 魔法攻撃ダメージ+［(SL)D］する。								
マジックブラスト	1	3	ムーブ	-	自身	自動	-	
効果：「タイミング：メジャーアクション」「対象：単体」を「対象：範囲([《マジックブラスト》のSL*2］体)」に変更する。メインプロセス間持続。								
	1							
効果：								
アンチイビル	1	-	パッシブ	-	自身	-	-	
効果： 攻撃のダメージに+[SL+2]する。また、その攻撃の対象が「分類：妖魔、魔獣、魔族」の場合、さらにダメージに+SLする。								
スクリーン	★	4	セットアップ	至近	自身	自動	-	
効果：対象は戦闘移動、あるいは離脱を行なう。ただし、対象のいるエンゲージが敵キャラクターが敵キャラクターに封鎖されている場合、離脱を行なうことはできない。対象はこのスキルの効果を拒否できる。								
トラッキング	★	-	パッシブ	-	自身	-	-	
効果： 残された足跡、痕跡などを元に追跡するための【感知】判定に+1Dする。								
フェイス：アエマ	★	-	パッシブ	-	自身	-	-	
効果： HP回復、MP回復を行なうスキル、パワー、アイテムの効果に+2する。								
スペシャリストⅠ：火	★	-	戦闘前	-	自身	-	メイジ	
効果： フェイトを1点消費。〈地〉属性の魔法攻撃のダメージに+1Dする。シーン間。								
効果：								
効果：								
効果：								

「俺はゲルト。ただのゲルトだ」
ヴァーナ：猫族の魔術士。かつては霧の森で狩人として、そしてドルイドとして活動していた。
だが今は、霧の森焼失事故に関わったとして、スピアルゾンのドルイド達から追われる身となっている。
いつか汚名を晴らし、過去の全てを取り戻そうとしている。

一人称：俺
二人称：アンタ
三人称：連中

【出自：狩人】
かつては霧の森で狩りを行なうハンターだった。幼少より親と、そしてスピアルゾンのドルイド達と共に暮らしていた。

【境遇：天啓】
ある時、脳裏に囁くものがあった。何者の声かは分からない。だが、日に日に大きさを増すその声は、いつからか彼に魔術を教えていた。
火の精霊魔術を扱えるようになった頃、声は森の中の魔獣を狩る事を命令される。
声に従うまま魔獣を追い詰め、2年の歳月をかけ魔獣を仕留めることに成功したが、そこからが問題であった。
ゲルトが用いた精霊魔術が木々を焼き、霧の森の一部を焼失させてしまったのだ。

【目的：奪還】
それから、頭の中の声は消えていた。……何かに選ばれ、利用されたのだ。ゲルトは霧の森を焼いた咎を負い、スピアルゾンから追われる身となった。
奪われた日常と、自らの誇りと名誉を取り戻さなくてはならない。
再び故郷である霧の森へと帰る為に、そして脳裏に囁いた声の正体を探る為、情報収集も兼ね神殿の冒険者となった。